

2025 年 7 月 7 日

「手形・小切手の全面的な電子化」に向けた県内金融機関連携について

平素より格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

株式会社南日本銀行（頭取 田中 暁爾）は、県内の金融機関と連携し「手形・小切手の全面的な電子化」に向けて、お客さまの電子化支援に取り組むことにしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 目的

現在、政府・産業界・金融界において 2021 年 6 月に閣議決定された政府の「成長戦略実行計画」における「2026 年度末までの手形・小切手機能の全面的な電子化」に向けた取り組みを行っています。

県内の金融機関が連携し、全面的な電子化への取り組みをさらに加速させることを目的として、地域のお客さまの D X 推進、紙削減による環境負荷軽減に貢献いたします。

2. 取組内容

(1) 「でんさい」や「インターネットバンキング※」利用による電子的決済サービスへの移行のご支援を行います。

(2) 「手形・小切手の全面的な電子化」に関する共通リーフレットの使用により、お客さまへの周知活動を行います。

※各金融機関により呼称は異なります。

3. 連携金融機関（金融機関コード順）

鹿児島銀行、南日本銀行、鹿児島信用金庫、鹿児島相互信用金庫、奄美大島信用金庫、鹿児島興業信用組合、奄美信用組合、九州労働金庫、鹿児島県信用農業協同連合会

4. 連携開始日

2025 年 7 月 7 日（月）

以上

【本件に関するお問合せ先】

事務統括部 事務企画管理グループ

Tel 099-226-1412

受付時間：銀行営業日 9：00～17：00

手形・小切手を電子的決済サービスへ

電子化、 もうお済みですか？

政府は「約束手形・小切手の利用廃止」の方針を示しております。これをもとに、産業界・金融界が連携して2026年までの手形・小切手の利用廃止に向けた取組みを行っています。早期に電子的決済サービス(※)への移行をご検討ください。

(※)電子記録債権(でんさい等)とインターネットバンキング(IB)による振込



これから知っても
まだ間に合う！

電子化の3つのメリット

1

コスト削減

印紙税や
取引先への郵送料等が
不要



2

事務負担軽減

どこでも利用でき、
煩雑な事務負担
を軽減



3

リスク低減

盗難・紛失
の心配がなく、
災害にも強い



はじめよう、あたらしいコト。
鹿児島銀行
Kagoshima Bank

話せるところ 頼れるところ
南日本銀行

はつらつ未来・はつらつ笑顔。
かしん 鹿児島信用金庫

そうしん
鹿児島相互信用金庫

奄美大島信用金庫

鹿児島興業信用組合
こうしん

しほ 郷土のくらしを見つめる
奄美信用組合

ろうきん

JAバンク鹿児島
JAバンクが、あるじゃないか！

受取・支払企業の
双方にメリット!

電子化で負担のない取引へ!



紙の手形を電子記録債権(でんさい等)に、紙の小切手をインターネットバンキングによる振込に移行することで、支払企業と受取企業の双方に以下のメリットがあります。



支払企業

コスト削減

- ✕ 郵送料
- ✕ 印紙代
- ✕ 取立手数料

事務 負担軽減

- ✕ 現物管理
- ✕ 手書き・ゴム印
- ✕ 印紙・押印・発送

リスク低減

- ✓ 紛失・盗難の心配がなく、災害に強い

場所を選ばず利用可能

- ✓ いつでも・どこでも非対面の決済取引
- ✓ 金融機関・郵便局等への訪問不要



受取企業

資金繰りの円滑化

支払い期日に自動入金。
電子記録債権は必要な分だけ分割して利用可能。

支払までは
簡単3ステップ!

電子的決済サービス導入の流れ(支払利用)



コストメリットや会計システム、支払手続きの変更などを確認し、電子的決済サービスの導入を以下の流れで行います。

STEP 1

取引金融機関へご相談

専門スタッフの派遣や導入サポートのサービスを提供している金融機関もございますので、金融機関担当者にお問い合わせください。



STEP 2

取引先企業へご案内

電子記録債権やインターネットバンキングによる振込への切替えを案内し、振込先の口座情報等、必要な情報を確認します。



STEP 3

取引金融機関への申込 / 社内の導入準備

社内の事務手続きや管理手順の見直しなどを行い、初期設定をします。

- ✓ 利用申込
- ✓ 事務運用方法
- ✓ 管理手順
- ✓ 初期設定

